

## 御料局佐渡支庁跡（相川郷土博物館）耐震改修基本設計について

今年度、令和2年3月に策定された史跡佐渡金銀山遺跡整備基本計画書に基づき、御料局佐渡支庁跡（相川郷土博物館）の耐震改修基本設計を実施しております。

## 1. 御料局佐渡支庁跡の現状と課題…資料5－1

地区および対象建物の概要及び課題については添付資料でご確認ください。

## 2. 御料局佐渡支庁跡の整備方針 …資料5－2

**修理設定年代** 昭和28年（旧相川町に払い下げられた当時）とする

**保存整備方針** 各種調査に基づき、耐震補強及び修理工事を行う。また、必要な防災設備を設置する。

外観：建物現況調査成果に基づく鉱山事務所であった頃の外観の維持

内装：部分解体調査の成果及び保存活用整備方針に基づき決定する。

**活用整備方針** 近現代の鉱山について情報提供を行うガイダンス施設・資料展示の機能に特化する。また、バリアフリーに対応した便益施設を整備する。

★関連計画及び詳細については添付資料をご覧ください。

## 3. 今後の事業スケジュール

- ・ R 2 地耐力調査・痕跡及び劣化度調査（部分解体調査）・基本設計
- ・ R 3 実施設計
- ・ R 4～5 耐震改修・整備工事（予定）

## 4. 令和2年度実施予定の調査内容…資料5－3

- ・ スウェーデン式サウンディングによる地盤調査
- ・ 部分解体調査を伴う部材劣化度調査、痕跡調査

★以上を基に耐震補強、修理、展示、活用に係る修理整備方針を策定する（基本設計）調査の詳細については添付資料をご覧ください。

## 5. 専門家会議の予定

- 第2回（11月） 各室の活用方針及び耐震補強の検討
- 第3回（2月） 基本設計案の確認

## 御料局佐渡支庁跡の概要

## ○地区の概要

御料局佐渡支庁跡は北沢地区の入り口に位置する。御料局佐渡支庁跡と旧鉾山本部事務所ほか数棟の建物群からなる現在の佐渡市立相川郷土博物館の敷地全域が史跡佐渡金銀山遺跡御料局佐渡支庁跡として平成6年に国史跡に指定されている。

北沢地区は、明治時代以降の鉱山の近代化に伴い、選鉱・製錬拠点として整備された地区で、明治 18 年（1885）以降の大島高任による施設拡張から昭和 10 年代の国策に伴う施設拡張によって、現存する多くの施設群が建設された。北沢地区の入り口には、御料局佐渡支庁及び旧鉱山本部事務所が建設され、北沢地区を含めた佐渡鉱山の管理を行った。これらの施設は昭和 28 年（1953）の鉱山大縮小に伴い、多くが閉鎖され、上屋や機械類が撤去された。御料局佐渡支庁及び旧鉱山本部事務所も昭和 28 年に閉鎖されたが、その後、相川町に払い下げられ、昭和 31 年（1956）からは相川町（現佐渡市）立相川郷土博物館として、活用されている。



### ○御料局佐渡支庁跡

明治 22 年（1889）に帝室財産へと編入された佐渡鉱山の管理を行うために建設された洋風 2 階建て、寄棟屋根棧瓦葺、横板張りの木造建築。外装は当初、ペンキ塗りであったとされる。内部は漆喰仕上げ、床は当時珍しいリノリウム張りで、暖炉がついている。窓の構造が変わるなど、細部に改造があるものの概ね建築当初の形を留めている。明治 29 年（1896）に佐渡鉱山が三菱に払い下げられた後は、三菱の鉱山長室として昭和 28 年（1953）まで使用された。



建物外観（現況）



鉱山長室（昭和時代）

### ○旧鉱山本部事務所

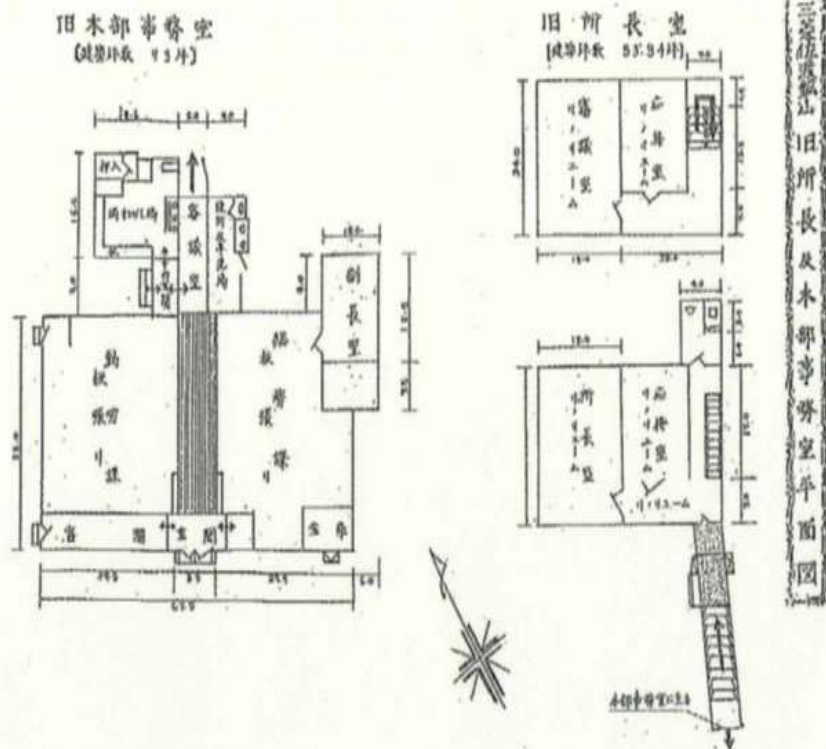
昭和 11 年（1936）に三菱の鉱山本部事務所として建設された木造建築である。平屋建て寄棟造棧瓦葺で、大規模な東棟と小規模な西棟からなる。下屋が後補であるなど外観は建築当時から変化しているものの、御料局佐渡支庁跡と一体となって鉱山の管理拠点として昭和 28 年（1953）まで使用された。



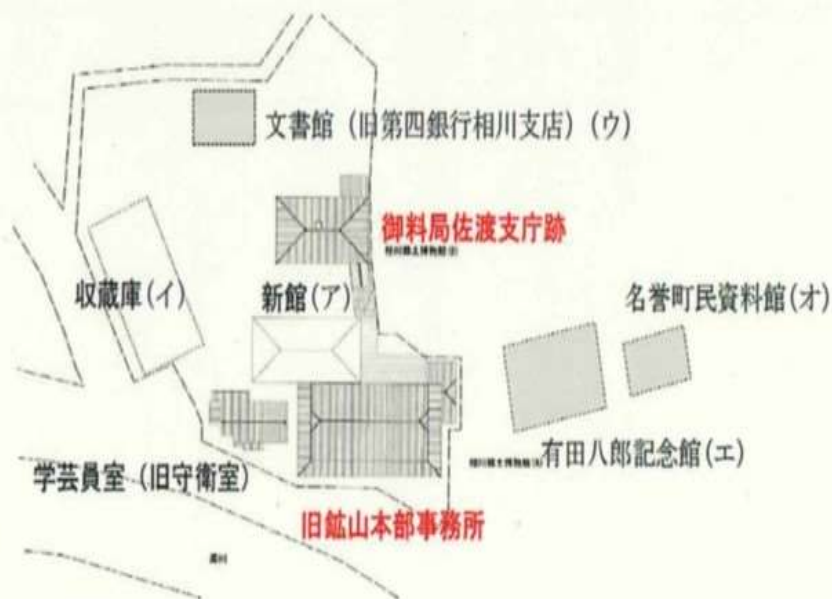
建物外観（現況）



建物外観（昭和 12～13 年頃）



鉱山事務所の頃の間取り図



現在の相川郷土博物館 施設配置図

## 御料局佐渡支庁跡・旧鉾山本部事務所の現状と課題

### 【保存上の課題】

- ・経年劣化が進行している。
- ・耐震性能が不足している。

※平成 29 年度に「木造住宅の耐震診断と補強方法」に基づく一般診断を実施。

結果は下記のとおり。

御料局佐渡支庁跡は 1 階、2 階ともに耐震要素が少なく、かつ Y 方向のバランスが取れていない。上部構造の評点は 1 階が  $X=0.141 \cdot Y=0.138$ 、2 階が  $X=0.321 \cdot Y=0.273$  と非常に低く（0.7 未満は大地震時に倒壊する可能性が高い）、耐震補強が必要。

旧鉾山本部事務所は耐震要素が非常に少ないが、全体バランスは何とか保たれているものの、上部構造の評点は  $X=0.321 \cdot Y=0.347$  と非常に低く、耐震補強が必要。

- ・博物館運営のための改変が度々行われている。

昭和 48 年（1973）、1 階展示室改装及び特別展示室の新築。

昭和 51 年（1976）、文書館（旧第四銀行旧行舎）移築。

昭和 52 年（1977）、旧副長室に遊女の展示コーナーを新設。

昭和 53 年（1978）、本館の外壁修繕。

昭和 54 年（1979）、収蔵庫完成、本館屋根修繕、展示室改装。

昭和 55 年（1980）、道路改修工事のため事務室の一部を切り取る、南沢疎水道貫通記念碑を文書館脇に移転、本館屋根修繕、収蔵庫周辺の排水溝改修。

昭和 56 年（1981）、本館の床及びトイレ修繕、御料局内壁修繕。

昭和 57 年（1982）、御料局外壁修繕及び本館屋根修繕。

昭和 58 年（1983）、御料局屋根修繕。

### 【活用上の課題】

- ・現在の展示内容では、地区内にある各建物や施設の関係性及び鉾山のシステム全体の中での関係性の理解が難しい。
- ・施設の操業当時の機能や雰囲気分かるような整備が必要。
- ・現在の展示は、郷土博物館としての総合的な展示構成となっており（鉾山、考古、工芸、地質など）、建物及び地区が有していた機能と展示及び情報発信の内容が合致していない。
- ・サテライトガイダンス施設としての便益施設の充実が必要。
- ・公開施設であるが、バリアフリー対応となっていない。

- ・ 史跡指定地内のその他の博物館施設についても（文書館、有田八郎記念館、名誉町民資料館、収蔵庫）についても、一体的な活用又は除却を検討する必要がある。



御料局佐渡支庁跡の整備方針(案)について

1. 関連計画における位置付け

(1) 『史跡佐渡金銀山遺跡保存管理計画 第Ⅱ期』 平成 28 年 3 月策定

【保存管理の方針】

- ・近現代構造物及び跡地の適切な保存管理と、鉄・コンクリート等の素材の定期点検（モニタリング）に基づく適切な手法による復旧を行う。
- ・歴史的景観に馴染まない施設の将来的な移転等も視野に入れた取扱いを検討する。

【相川郷土博物館 史跡における構成要素】

a) 本質的価値を構成する諸要素・近現代遺構・地上及び地下遺構

経営関連遺構（御料局佐渡支庁（建造物））、旧鉱山本部事務所（建造物）及び関連遺構

→鉄、コンクリート、煉瓦、石、木といった様々な素材からなる建造物は、要素別保存管理に準じて適切に保存管理する。

b) その他の諸要素・史跡の価値に直接関係しない要素・社会的要素

相川郷土博物館新館・収蔵庫、有田八郎記念館（併設）、名誉町民資料館（併設）、相川文書館（併設）

→相川文書館＝改修・更新の際には現状保存または移転を検討する。

→技能伝承館＝更新の際には撤去あるいは移設を検討する（その他施設の記載なし）。

(2) 『佐渡金銀山ガイドンス施設（仮称）整備基本計画』 平成 28 年 3 月策定

佐渡金銀山のガイドンス施設について、効果的な運用を図るため、下記の 3 つの施設に整理。

①メインガイドンス施設

②サテライトガイドンス施設

③エントランス施設

【サテライトガイドンス施設の定義】

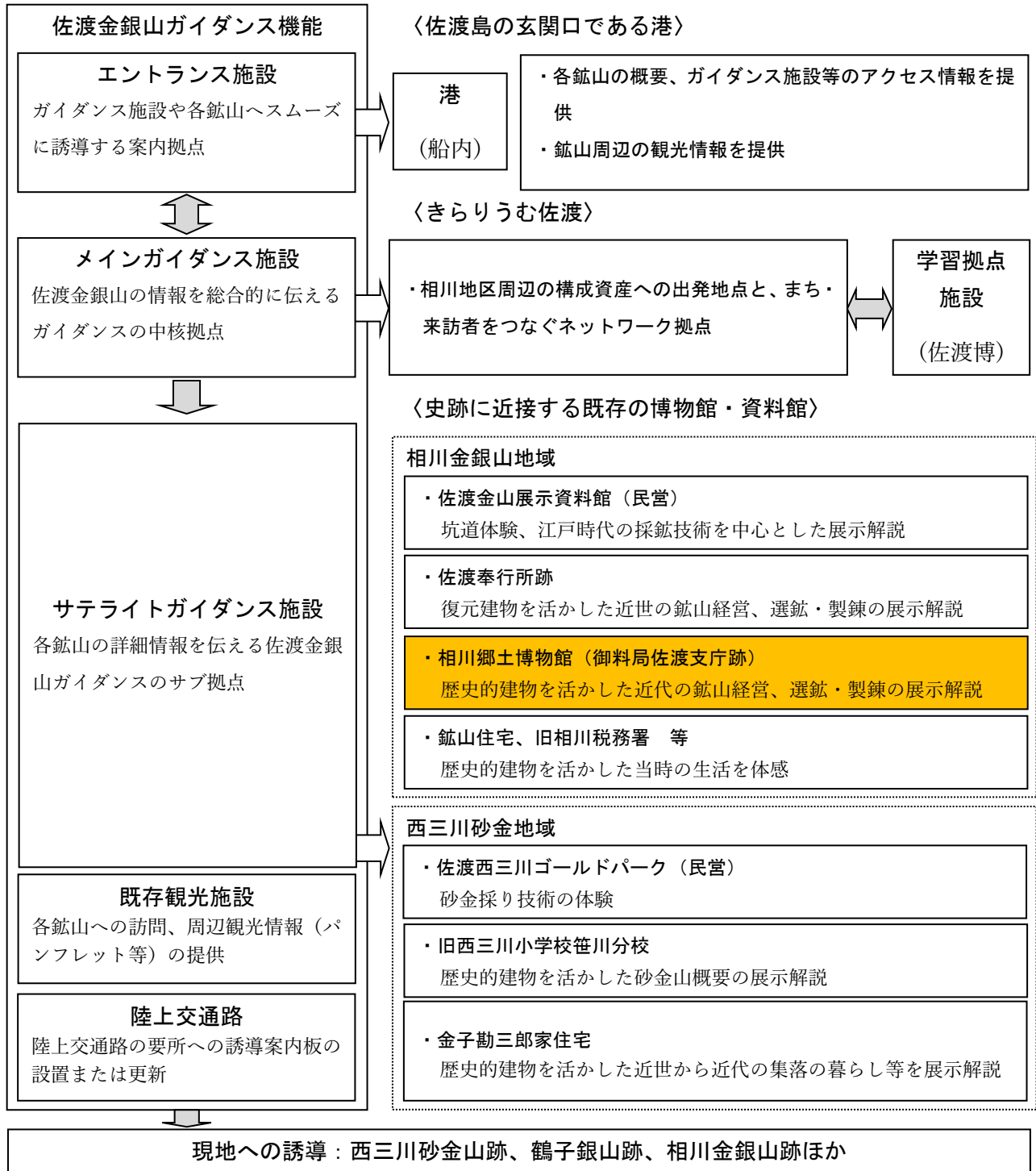
史跡の本質的価値に対する理解を深めるため、メインガイドンス施設より詳細な各鉱山の情報を伝えるガイドンス施設のサブ拠点として、サテライトガイドンス施設を設置する。なお、サテライトガイドンス施設については下記の運用を想定する。

→既存の博物館や資料館等を活用

→市所有の施設を改修後、ガイドンス機能の付与について検討

## 【公開・活用の情報提供】

公開・活用のための施設では、以下の内容での情報提供を実施する。ガイダンス施設等を中心として、既存観光施設と連携した情報提供の実施を図る。サテライトガイダンス施設は既存の博物館・資料館を利用することとし、各施設に定められた適切な情報提供のために、施設内外の整備を実施する。



（図：公開・活用のための施設での情報提供フロー図）





(3) 『佐渡相川の鉱山及び鉱山町の文化的景観保存計画』 平成 29 年 3 月策定

文化的景観選定範囲内に所在（重要な構成要素）

※市景観条例の規制あり（相川特別区域・農漁村及び森林区域）

(4) 『史跡佐渡金銀山遺跡整備基本計画』 令和 2 年 3 月策定

相川金銀山地域の本質的価値を構成する要素は様々な時代や時期を有する要素を含む。そのため、本質的価値を構成する要素の保存整備にあたっては、個々の要素が形成された時代や形成時の機能が失われる直前の時期への復元・修繕を目的として実施するとしており、相川郷土博物館（旧御料局佐渡支庁跡）の保存・活用整備の方向性を以下のとおりとしている。

【相川郷土博物館の保存整備の方向性】

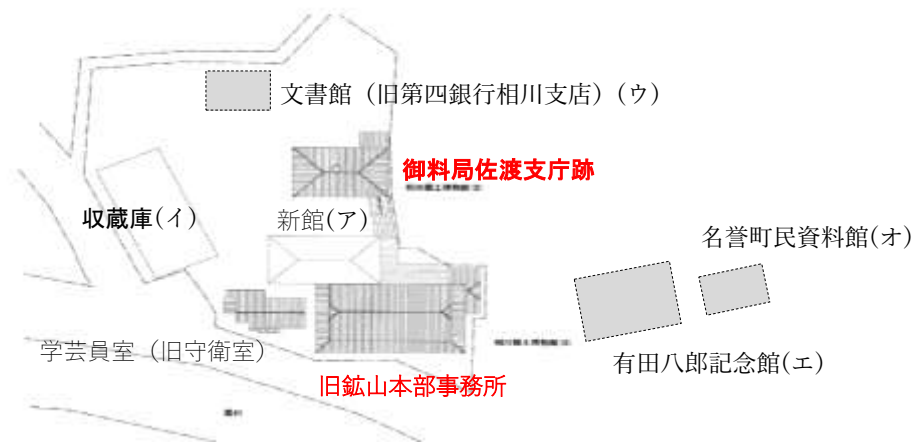
- ・ 外観の修理設定年代は「昭和 28 年（1953）の佐渡鉱山大縮小に伴い、市に払い下げられた直後の鉱山事務所の姿」を基本とする。内装については、博物館利用のために改装されていることから以下の 調査に基づいて修理設定年代を決定する。
- ・ 解体調査等の実施により建造物的価値と改修履歴を把握し、その成果にもとづいた修理工事を実施する。
- ・ 耐震診断の調査結果をもとに耐震補強の方針を決定し、耐震補強工事を実施する。
- ・ サテライトガイダンス施設としての活用を踏まえた保存整備を実施する。

【相川郷土博物館整備の活用整備の方向性】

- ・ 保存整備の修理設定年代を基本として整備を実施する。
- ・ 相川郷土博物館（御料局佐渡支庁跡）を 旧鉱山本部事務所として利用された履歴を活用し、近現代の相川金銀山（佐渡鉱山）を紹介するサテライトガイダンス施設として整備する。 また、鉱山事務所当時の間取りや建築様式を留めることから、歴史的建造物を体感できる施設としても活用する。

【相川郷土博物館整備の活用整備方針】

- ・ サテライトガイダンス施設としての整備を実施すると共に 建造物の本来機能である近現代鉱山経営の様子が分かる解説・展示へと更新する。 併せて、近代以降の鉱山技術、とりわけ北沢エリアが担った選鉱・製錬技術が理解できる展示・解説を行う。
- ・ 建造物修理事業とあわせて 来訪者の安全確保のための耐震補強工事を実施する。



(図：相川郷土博物館 関係施設配置図)

## (5) 「博物館ビジョン(案)」 令和2年策定予定

博物館ビジョン(案)において、相川郷土博物館の課題を以下の様に整理している。

- ・国史跡「御料局佐渡支庁跡」の建物保存と利用。
- ・佐渡金銀山関係の一括資料を見る施設が限定される。
- ・鉱山史を中心とした歴史資料の展示に特化させ、他施設との差別化を図る。

## 2. 相川郷土博物館整備方針(案)

『史跡佐渡金銀山遺跡整備基本計画』で示される保存・活用整備の方向性に基づき、以下の方針を検討する。

### (1) 全体方針

修理設定年代を「昭和28年（旧相川町に払い下げられた当時）」とする。

### (2) 御料局佐渡支庁・旧鉱山本部事務所の整備方針

#### A. 保存整備方針

部分解体調査・耐震診断等の各種調査結果をもとに、建造物的価値・改修履歴・耐震性能等を把握し、その結果に基づいた補強及び改修工事を行う。

外観：建物現況調査成果に基づく鉱山事務所であった頃（昭和28年頃）の外観の維持

内装：解体調査の成果及び保存・活用整備方針に基づき決定する。

#### B. 活用整備の方針

「佐渡金銀山ガイド施設（仮称）整備基本計画」のコンセプトに基づき、近現代の鉱山について情報提供を行うガイド施設＋資料展示の機能に特化させる。

- ・近現代の佐渡鉱山の歴史（旧明治時代の官営佐渡鉱山、民間企業（三菱）による操業）についての展示・情報提供
- ・北沢地区に残る鉱山施設についての展示・情報提供
- ・相川郷土博物館が所蔵する近現代の鉱山関連資料の展示
- ・佐渡鉱山で働いていた人々（特に鉱山職員や労働者）の暮らしについての展示・情報提供
- ・サテライトガイダンス施設としての便益施設の充実
- ・バリアフリーに対応した整備

### C. 各室の現状 ……相川郷土博物館各室の現状を参照

#### ア. 旧鉱山本部事務所

A：展示室〔御料局経営期の資料・部屋制度・木型・北沢地区出土品等展示〕

B：展示室〔近世の絵図や道具類・フイゴ・修教館・鉱石の展示〕

C：展示室〔遊女ジオラマ展示、遊郭等のパネル展示〕

D：展示室（新館）〔佐渡出身の人物に関する絵図や文書の展示〕

（非展示室）

I：物置

J：学芸員室、物置

K：事務室〔入館者受付〕

#### イ. 御料局佐渡支庁跡

E：1階展示室〔古写真展示、陶芸〕

F：1階展示室兼応接室〔文書館関係資料、化石展示〕

G：2階展示室〔金太郎焼等の陶芸〕

H：2階展示室〔考古遺物展示〕

L：旧トイレ〔現在閉鎖中〕

※各室の展示・活用内容は、次回審議予定。

### D. 展示構成案

近現代の佐渡鉱山の歴史的変遷に沿った展示構成とした場合、以下の構成を基本とする。

#### ①官営「佐渡鉱山」の誕生〈明治2～18年〉

- ・鉱山の官営化と御雇外国人による西洋の鉱山技術の導入〔火薬採鉱法、大立堅坑の開削、様式製鉱所の建設、運搬車道の敷設など〕と鉱山の近代化

#### ②近代鉱山の確立〈明治18～22年〉

- ・佐渡鉱山局事務長であった大島高任による鉱山施設の整備〔大間港埋立、高任堅坑の開削、架空索道の架設など〕と日本人技師による鉱山の近代化

#### ③皇室財産と模範鉱山〈明治22～29年〉

- ・宮内省御料局への所管替えと御料局佐渡支庁長渡辺渡による施設整備〔高任選鉱場、間山搗鉱場、沈殿製錬所の建設〕
- ・国内における模範鉱山の地位確立と国内外からの学生・留学生の受入
- ・鉱山学校の開校

#### ④三菱による鉱山経営〈明治 29～昭和 11 年〉

- ・民間企業による鉱山経営と施設整備〔道遊坑の開坑など〕
- ・蒸気力から電力への転換と発電所の建設〔北沢火力発電所、戸地川発電所など〕

#### ⑤昭和の大増産時代〈昭和 11～20 年〉

- ・国策による金の増産と新たな施設の建設〔高任粗砕場・北沢浮遊選鉱場・50m シックナーなど〕
- ・労働力の補充（国内外からの労働者の動員）
- ・銅山としての稼働

#### ⑥鉱山の大縮小と休山〈昭和 20～平成元年〉

- ・鉱山の大縮小に伴う施設の廃止
- ・休山

#### ⑦佐渡鉱山で働く人々の暮らし

- ・鉱山の労働体制（官吏・鉱山労働者の居住地／部屋制度）
- ・鉱山祭と鉱山労働者の福利厚生〔鉱山病院・鉱山倶楽部など〕
- ・鉱山町相川ゆかりの人物の紹介

### (3) 併設する施設の整備方針

#### ①施設概要

御料局佐渡支庁跡・旧鉱山本部事務所に併設する施設としては、昭和 40 年代に増築された有田八郎記念館や新館（特別展示室）、昭和 51 年に相川市街地から移築された文書館（旧第四銀行相川支店旧行舎）、昭和 54 年に新築された収蔵庫、平成 16 年の佐渡市合併時に新設された名誉町民資料館があり、御料局佐渡支庁跡・旧鉱山本部事務所とともに相川郷土博物館として一体的な活用を図っている。

#### ②保存管理計画上の取り扱い

併設されている全ての施設は、史跡佐渡金銀山遺跡の本質的価値を構成する諸要素には含まれていない。この内、文書館は大正時代建築の歴史的建造物で、重要文化的景観の重要な構成要素に特定されており、史跡佐渡金銀山遺跡保存管理計画では改修・更新の際には現状保存又は移設を検討することとしている。

#### ③現状と課題

ア．新館

昭和 40 年代の建築であり新耐震基準を満たしていない。現在、特別展示室として佐渡出身の人物に関する絵図や文書の展示を行っているが、サテライトガイダンス施設の展示コンセプトに合っていない。

イ．収蔵庫

重要有形民俗文化財「佐渡海府の紡織用具」と重要文化財「新潟県佐渡奉行所跡出土品」を含む収蔵品があり、収蔵量は収蔵限界を迎えている。

ウ．文書館（旧第四銀行相川支店）

大正時代建築の歴史的建造物であり、現在、近現代行政文書類を収蔵している。

エ．有田八郎記念館

昭和 41 年の建築であり、老朽化が著しい。また、現行の耐震基準を満たしていない。現状開館しておらず、資料の展示を行っていない。

オ．名誉町民資料館

平成 16 年の建築で、現在は展示・公開を行っておらず、収蔵施設となっている。

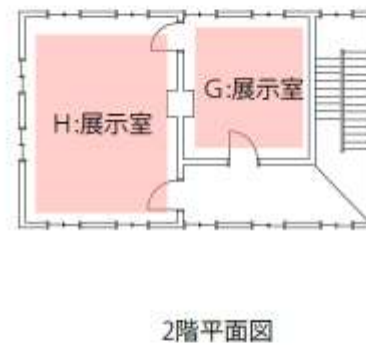
④整備方針

次回、審議予定。

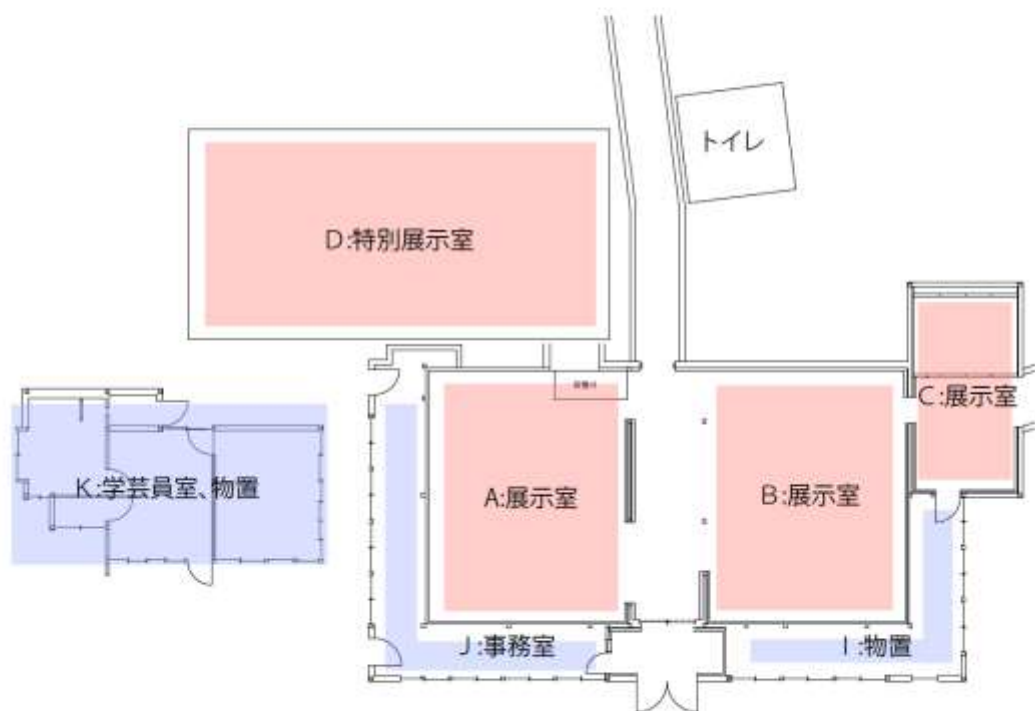


## 相川郷土博物館各室の現状

公開エリア ■  
非公開エリア ■



御料局佐渡支庁跡



旧鉾山本部事務所

## 令和2年度実施予定の調査内容

御料局佐渡支庁跡耐震改修基本設計を行うにあたり、下記の調査を実施する。

## 1. 地耐力調査

地耐力を計測するため、スウェーデン式サウンディング試験を実施する。調査地点は、建物本体を避けた敷地内の15箇所（そのうち10箇所の適地で測定）を予定している。調査に用いる機材は自走式（ゴムキャタピラ）の打ち込み機械を用い、掘削のためのスクリーポイント径は直径33mmで、ロッドの貫入深度は最大10mである。自走式機械の搬入の際には、史跡保護のためコンパネ又はシート等で地盤を養生し、走行する。

実施に際しては、現状変更許可（佐渡市許可案件）を得て実施する。

## 2. 部分解体調査

平成29年度実施の目視による現況調査では確認できなかった範囲について、必要最小限の部材を取外して部分的な解体調査を実施し、構造・部材寸法・劣化腐朽具体を目視判定及び実測するとともに、写真記録を行う。作業終了後は原則として取外した部材を用い現状に復する（床フローリング材のみ新材による復旧）。

実施に際しては、現状変更許可を得て実施する（現在申請中）。

## ○床解体調査

- ①旧鉾山本部事務所展示室（A－1地点） 約6.5m×1m  
床フローリング仕上げを切断撤去し、床板を取外して調査。
- ②旧鉾山本部事務所展示室（A－2地点） 約6m×1m  
同上。ただし、①地点から入り込める場合は解体しない。
- ③御料局佐渡支庁跡展示室（A－3地点） 約1.7m×0.7m  
床リノリウムを一時的にめくりあげ、床板を取外して調査。

## ○天井解体調査

- ①旧鉾山本部事務所模型室（B－1地点） 約0.45×1.8m  
天井材の化粧石膏ボードを取外して調査。
- ②旧鉾山本部事務所事務所棟事務室研究室（B－2地点） 約0.45×1.8m  
同上。
- ③旧鉾山本部事務所事務所棟作業員室（B－3地点） 約0.9×0.9m  
天井材の合板張りを取外して調査。ただし②地点から入り込める場合は解体しない。

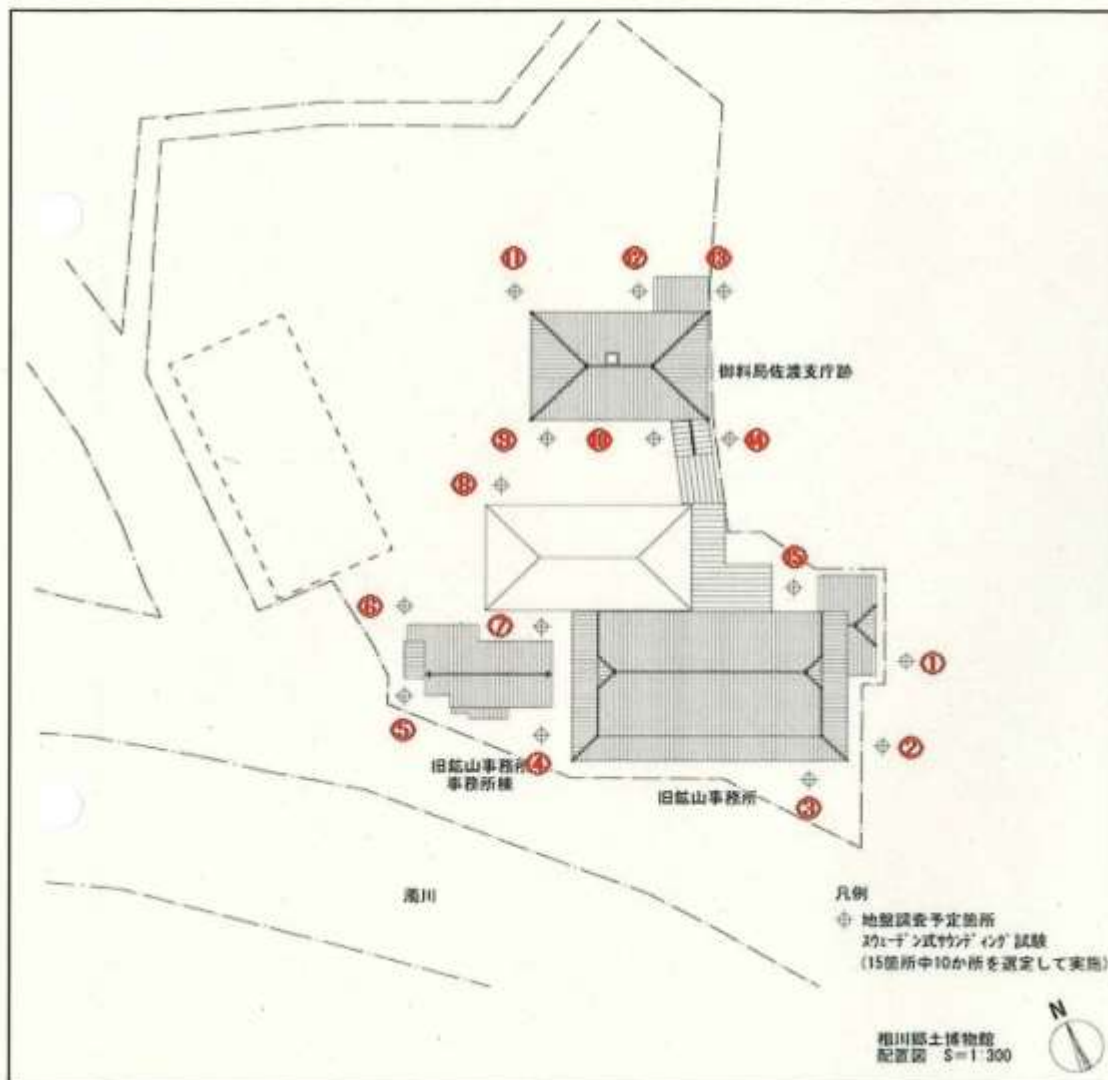
★以上の調査及び既往の調査成果に基づき、修理及び整備方針を決定する（基本設計）。

## 【地耐力調査】



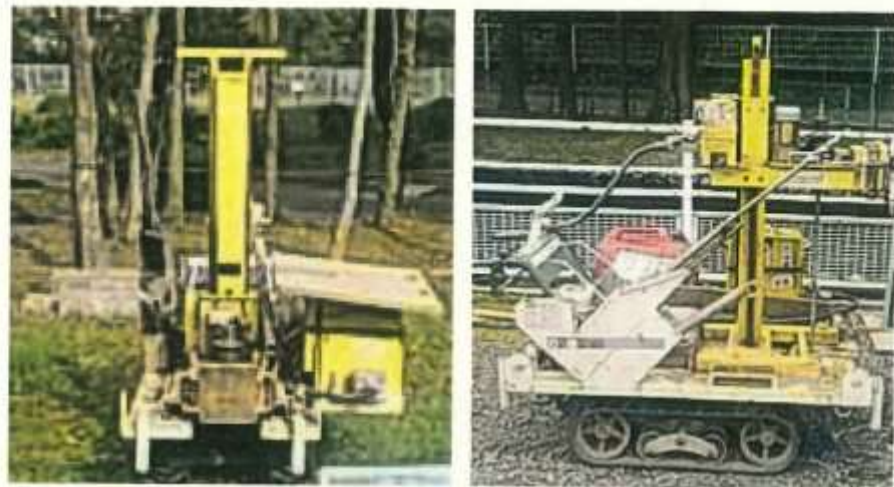
調査地点

左：グーグルマップより  
下：地盤調査予定箇所

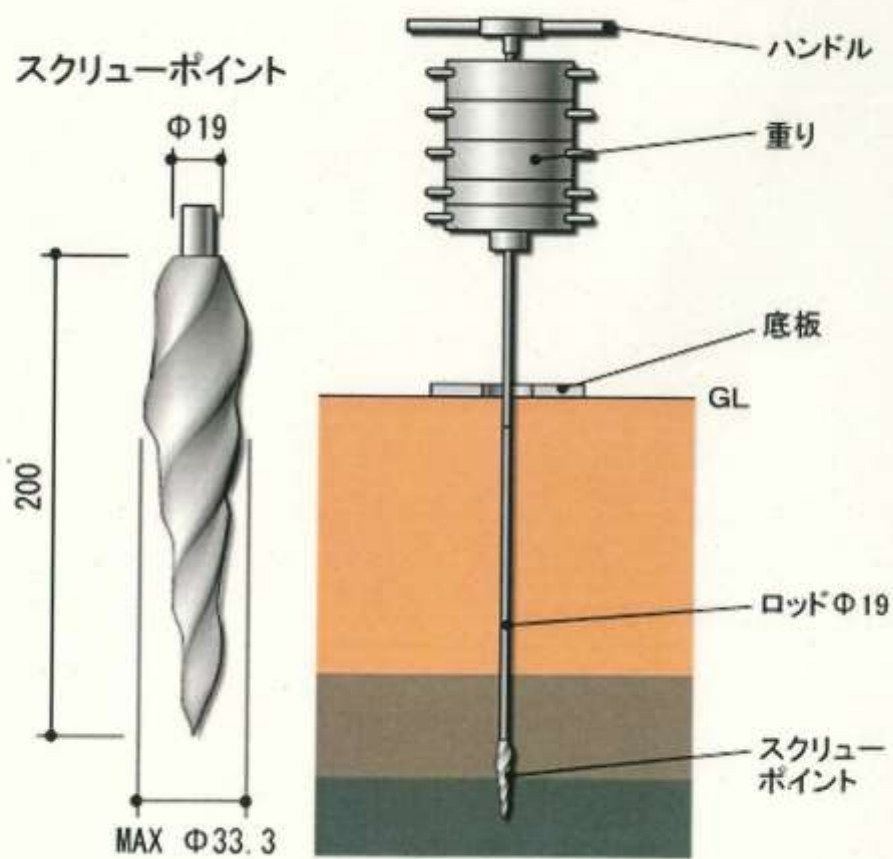


地耐力調査箇所(15箇所)

【調査機器図】

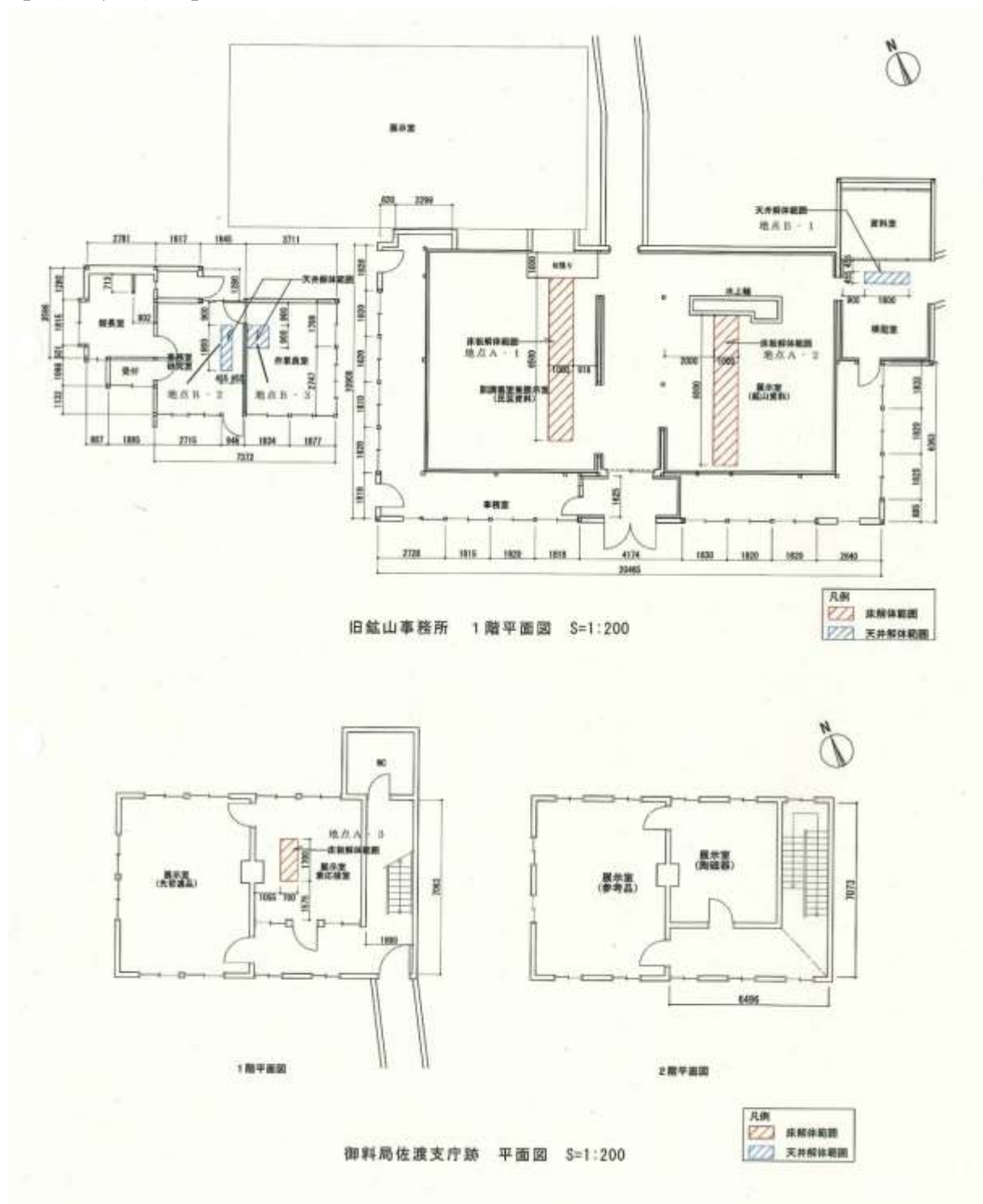


自動式スウェーデン式サウンディング試験機





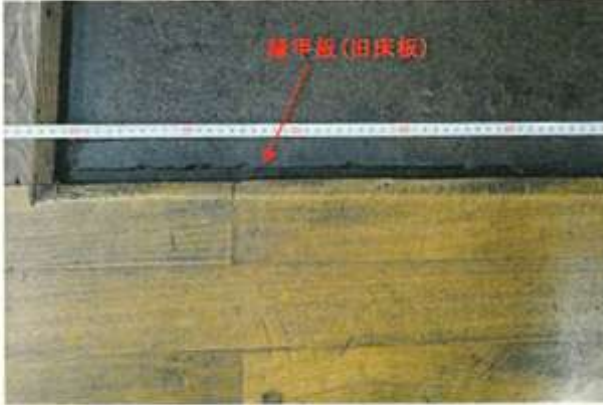
ロッド先端スクリューポイント寸法図

【部分解体調査】





【床解体範囲（旧鉱山本部事務所）】

<p>(南側より)</p> 	<table border="1"> <tr><td>施設名</td><td>旧鉱山事務所</td></tr> <tr><td>室名</td><td>副講義室兼展示室</td></tr> <tr><td>部位</td><td>床（地点A-1）</td></tr> <tr><td colspan="2">1.フローリング撤去</td></tr> <tr><td colspan="2">2.縁甲板取外し</td></tr> <tr><td colspan="2">3.床下構造・部材寸法・劣化調査</td></tr> <tr><td colspan="2">4.縁甲板取り付け現状復旧</td></tr> <tr><td colspan="2">5.フローリング新規材にて復旧</td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> </table>	施設名	旧鉱山事務所	室名	副講義室兼展示室	部位	床（地点A-1）	1.フローリング撤去		2.縁甲板取外し		3.床下構造・部材寸法・劣化調査		4.縁甲板取り付け現状復旧		5.フローリング新規材にて復旧							
施設名	旧鉱山事務所																						
室名	副講義室兼展示室																						
部位	床（地点A-1）																						
1.フローリング撤去																							
2.縁甲板取外し																							
3.床下構造・部材寸法・劣化調査																							
4.縁甲板取り付け現状復旧																							
5.フローリング新規材にて復旧																							
<p>(東側より)</p> 	<table border="1"> <tr><td>施設名</td><td>旧鉱山事務所</td></tr> <tr><td>室名</td><td>副講義室兼展示室</td></tr> <tr><td>部位</td><td>床（地点A-1）</td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> </table>	施設名	旧鉱山事務所	室名	副講義室兼展示室	部位	床（地点A-1）																
施設名	旧鉱山事務所																						
室名	副講義室兼展示室																						
部位	床（地点A-1）																						
	<table border="1"> <tr><td>施設名</td><td>旧鉱山事務所</td></tr> <tr><td>室名</td><td>副講義室兼展示室</td></tr> <tr><td>部位</td><td>床（地点A-1）</td></tr> <tr><td colspan="2">縁甲板の1枚の長さや割付が不明のためフローリング材撤去は広めに行い、縁甲板の取外し範囲は床下調査に必要な最小限の範囲に留める。</td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> </table>	施設名	旧鉱山事務所	室名	副講義室兼展示室	部位	床（地点A-1）	縁甲板の1枚の長さや割付が不明のためフローリング材撤去は広めに行い、縁甲板の取外し範囲は床下調査に必要な最小限の範囲に留める。															
施設名	旧鉱山事務所																						
室名	副講義室兼展示室																						
部位	床（地点A-1）																						
縁甲板の1枚の長さや割付が不明のためフローリング材撤去は広めに行い、縁甲板の取外し範囲は床下調査に必要な最小限の範囲に留める。																							



(南側より)



施設名	旧鉱山事務所
室名	展示室（鉱山資料）
部位	床（地点A-2）
副講義室兼展示室から床下に入り込めない場合に実施する。	
1.フローリング撤去	
2.縁甲板取外し	
3.床下構造・部材寸法・劣化調査	
4.縁甲板取り付け現状復旧	
5.フローリング新規材にて復旧	

(東側より)



施設名	旧鉱山事務所
室名	展示室（鉱山資料）
部位	床（地点A-2）

(西側より)



施設名	旧鉱山事務所
室名	展示室（鉱山資料）
部位	床（地点A-2）
中央床置き展示什器下の床板状況	
93 cm四方でやり替えられている	

【床解体範囲（御料局佐渡支庁跡）】

（北東側より）



施設名 御料局佐渡支庁跡

室名 展示室兼応接室

部位 床（地点A-3）

1. リノリウムめくりあげ

2. 縁甲板取外し

3. 床下構造・部材寸法・劣化調査

4. 縁甲板取り付け現状復旧

5. リノリウム現状復旧

（南側より）



施設名 御料局佐渡支庁跡

室名 展示室兼応接室

部位 床（地点A-3）

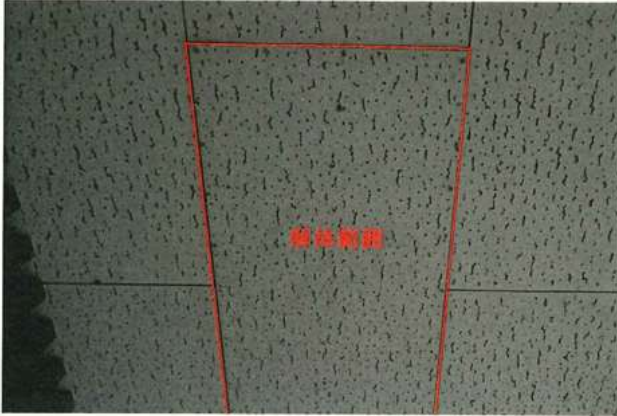


リノリウムめくりあげ状況

施設名

室名

部位

【天井解体範囲（旧鉱山本部事務所）】

<p>(西側より)</p> 	<table border="1"> <tr> <td>施設名</td><td>旧鉱山事務所</td></tr> <tr> <td>室名</td><td>模型室</td></tr> <tr> <td>部位</td><td>天井（地点B-1）</td></tr> <tr> <td colspan="2">化粧石こうボード2枚を取外す (写真下のボードをもう一枚)</td></tr> <tr> <td colspan="2">1.化粧石こうボード取外し</td></tr> <tr> <td colspan="2">2.小屋裏構造・部材寸法・劣化調査</td></tr> <tr> <td colspan="2">3.化粧石こうボード取り付け復旧</td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> </table>	施設名	旧鉱山事務所	室名	模型室	部位	天井（地点B-1）	化粧石こうボード2枚を取外す (写真下のボードをもう一枚)		1.化粧石こうボード取外し		2.小屋裏構造・部材寸法・劣化調査		3.化粧石こうボード取り付け復旧									
施設名	旧鉱山事務所																						
室名	模型室																						
部位	天井（地点B-1）																						
化粧石こうボード2枚を取外す (写真下のボードをもう一枚)																							
1.化粧石こうボード取外し																							
2.小屋裏構造・部材寸法・劣化調査																							
3.化粧石こうボード取り付け復旧																							
<p>(西側より)</p> 	<table border="1"> <tr> <td>施設名</td><td>旧鉱山事務所 事務所棟</td></tr> <tr> <td>室名</td><td>事務室研究室</td></tr> <tr> <td>部位</td><td>天井（地点B-2）</td></tr> <tr> <td colspan="2">1.化粧石こうボード取外し</td></tr> <tr> <td colspan="2">2.小屋裏構造・部材寸法・劣化調査</td></tr> <tr> <td colspan="2">3.化粧石こうボード取り付け復旧</td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> </table>	施設名	旧鉱山事務所 事務所棟	室名	事務室研究室	部位	天井（地点B-2）	1.化粧石こうボード取外し		2.小屋裏構造・部材寸法・劣化調査		3.化粧石こうボード取り付け復旧											
施設名	旧鉱山事務所 事務所棟																						
室名	事務室研究室																						
部位	天井（地点B-2）																						
1.化粧石こうボード取外し																							
2.小屋裏構造・部材寸法・劣化調査																							
3.化粧石こうボード取り付け復旧																							
<p>(南側より)</p> 	<table border="1"> <tr> <td>施設名</td><td>旧鉱山事務所 事務所棟</td></tr> <tr> <td>室名</td><td>作業員室</td></tr> <tr> <td>部位</td><td>天井（地点B-3）</td></tr> <tr> <td colspan="2">事務室研究室から小屋裏に入り込めない場合に実施する。</td></tr> <tr> <td colspan="2">1.合板取外し</td></tr> <tr> <td colspan="2">2.小屋裏構造・部材寸法・劣化調査</td></tr> <tr> <td colspan="2">3.合板取り付け復旧</td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> <tr><td colspan="2"> </td></tr> </table>	施設名	旧鉱山事務所 事務所棟	室名	作業員室	部位	天井（地点B-3）	事務室研究室から小屋裏に入り込めない場合に実施する。		1.合板取外し		2.小屋裏構造・部材寸法・劣化調査		3.合板取り付け復旧									
施設名	旧鉱山事務所 事務所棟																						
室名	作業員室																						
部位	天井（地点B-3）																						
事務室研究室から小屋裏に入り込めない場合に実施する。																							
1.合板取外し																							
2.小屋裏構造・部材寸法・劣化調査																							
3.合板取り付け復旧																							